

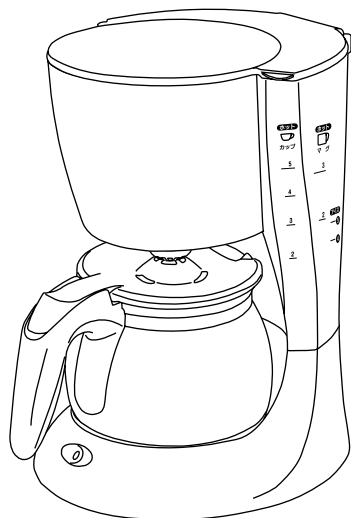
## コーヒーメーカー

品番 CM-05D

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用になる前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しく  
お使いください。

とくに「安全上のご注意」は熟読してください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに  
必ず保管してください。

家庭用



### も く じ

|             |   |
|-------------|---|
| 安全上のご注意     | 1 |
| 各部のなまえ      | 3 |
| 正しい使い方      | 4 |
| お手入れ        | 7 |
| 保証とアフターサービス | 8 |
| 故障かな?と思ったとき | 8 |
| 保証書         | 9 |

### 仕 様



|       |                     |
|-------|---------------------|
| 定 格   | 交流100V 50/60Hz 600W |
| 容 量   | 0.66L               |
| 方 式   | ドリップ式               |
| 外形寸法  | 幅175×奥行195×高さ265mm  |
| 質 量   | 約1,030g             |
| 電源コード | 約1.2m               |
| 安全装置  | 温度ヒューズ              |
| 付 属 品 | 計量スプーン              |

# 安全上のご注意

ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。




ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、『警告』『注意』の2つに分けてお知らせしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

|  |                                      |
|--|--------------------------------------|
|  <b>警告</b> | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。        |
|  <b>注意</b> | 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。 |

|  <b>警告</b>  |   |
|--|---|
| <br><b>分解禁止</b><br>改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない<br>●火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または弊社にご相談ください。     | <br><b>禁止</b><br>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない<br>●感電・ショート・発火の原因となります。                               |
| <br><b>水ぬれ禁止</b><br>本体は水につけたり、水をかけたりしない<br>●ショートや感電の恐れがあります。   | <br><b>禁止</b><br>電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない<br>●電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。 |
| <br><b>ぬれ手禁止</b><br>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない<br>●感電やけがをする恐れがあります。  | <br><b>必ず実施</b><br>定格15A以上のコンセントを単独で使う<br>●他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火する恐れがあります。                              |
| <br><b>禁止</b><br>子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない<br>●やけど・感電・けがをする恐れがあります。                                | <br><b>必ず実施</b><br>電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む<br>●感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。  |
| <br><b>禁止</b><br>交流100V以外では使用しない(国内100V専用)<br>●火災や感電の原因となります。  | <br><b>必ず実施</b><br>電源プラグの刃(プラグの先端)および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふき取る<br>●火災の原因となります。                              |
| <br><b>禁止</b><br>ステンレス容器なしで使わない<br>●やけどをする恐れがあります。   | <br><b>必ず実施</b><br>異常・故障時には、直ちに使用を中止する<br>●そのまま使用すると、火災・感電・けがの恐れがあります。すぐに電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。       |
| <br><b>接触禁止</b><br>ドリップ中や保温中は本体の保温板やステンレス容器などの高温部に手を触れない<br>●やけどやけがをする恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください | <b>【異常・故障例】</b><br>●ご使用中、電源コード・電源プラグが異常に熱くなる。<br>●電源コードを折り曲げると、通電したり、しなかつたりする。<br>●水タンクや本体から水漏れる。<br>●その他の異常や故障がある。   |
| <br><b>接触禁止</b><br>蒸気が出るところに手を触れない<br>●本体フタ周辺から出る蒸気でやけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。              |   |

## 絵表示について

|  |   |
|--|---|
|  | △記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。            |
|  | ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。              |
|  | ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。 |

## 注 意

|  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| <br>禁止   | ドリップ中やドリップ直後は本体フタを開けない<br>●熱湯が飛び散り、やけどの原因となります。                    | <br>禁止     | ステンレス容器をのせたまま本体を移動させない<br>●やけどやけがの原因となります。                                      |
| <br>禁止   | 不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物の上では使用しない<br>●火災の原因となります。                        | <br>禁止     | ステンレス容器を直火にかけたり、電子レンジや電磁調理器で使用しない<br>●プラスチック部が変形したり、金属部から火花が飛び散る原因となります。        |
| <br>禁止   | ドリップ中にステンレス容器を取り出さない<br>●熱湯があふれて、やけどや故障の原因となります。                   | <br>禁止     | 専用のステンレス容器以外は使わない<br>●熱湯があふれて、やけどや故障の原因となります。                                   |
| <br>禁止   | 壁や家具の近くで使わない<br>●蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因となります。                     | <br>プラグを抜く | 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く<br>●やけどやけが、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。                      |
| <br>禁止 | 倒したり落したりぶつかけたり強い衝撃を与えない<br>●故障・破損・けがの恐れがあります                       | <br>必ず実施 | 続けてコーヒーを作る場合は10分以上待つ<br>●本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると湯出口から突然蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因となります。 |
| <br>禁止 | 空だきはしない<br>●水タンクに水が入っていない状態で、スイッチを入れないでください。ヒーターが異常加熱し、故障の原因となります。 | <br>必ず実施 | お手入れは冷えてから行う<br>●高温部に触れ、やけどの恐れがあります。  |
| <br>禁止 | タコ足配線はしない<br>●火災の恐れがあります。  | <br>必ず実施 | 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く<br>●感電やショートして発火する恐れがあります。              |

## お願い

|   |   |
|---|---|
| 火気の近くで使用しない<br>●変形・故障の原因となります。                            | 水にぬれた場所で使用しない<br>●感電の原因となります。   |
| 水タンクに水以外のものを入れない<br>●牛乳・酒・コーヒー・湯など、水以外のものを入れると故障の原因となります。 | ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする<br>●本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、また、付着したカルシウム分がはがれて本体内部のお湯の出口をふさぐなど、故障の原因となります。 |

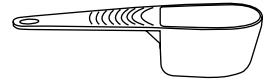
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

# 各部のなまえ

## 付属品

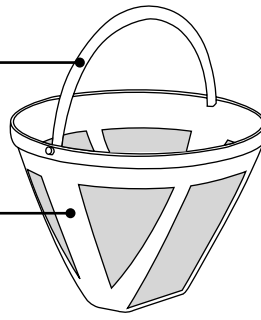
計量スプーン

(すりきり1杯:約6g)



フィルターハンドル

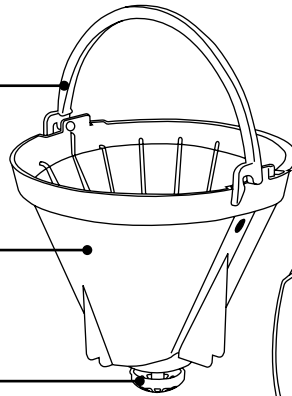
メッシュフィルター



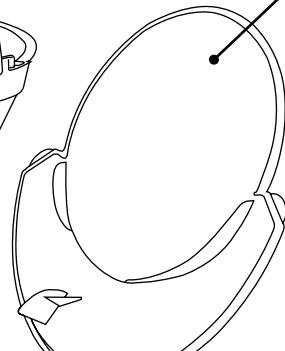
バスケットハンドル

バスケット

バスケット弁



本体フタ



レバー  
(押すと容器フタが  
開きます)

容器フタ

ステンレス容器

グリップ

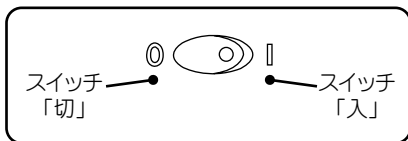
※この容器は真空二重構造ではありません。



スイッチボタン  
(通電ランプ付)

スイッチ  
「切」

スイッチ  
「入」



保温板

(△ドリップ直後や保温中は高温になっています。  
触れないでください。やけどの原因となります。)

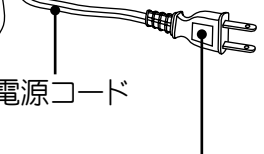


水タンク  
(水位目盛付)

|                 |                |          |
|-----------------|----------------|----------|
| ホット<br>カップ<br>5 | ホット<br>マグ<br>3 |          |
| 4               |                |          |
| 3               | 2              | アイス<br>1 |
| 2               |                |          |

電源コード

電源プラグ



## 交換部品

損傷した場合は、新しい部品と交換(有償)してください。

お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。

メッシュフィルター

バスケット

ステンレス容器

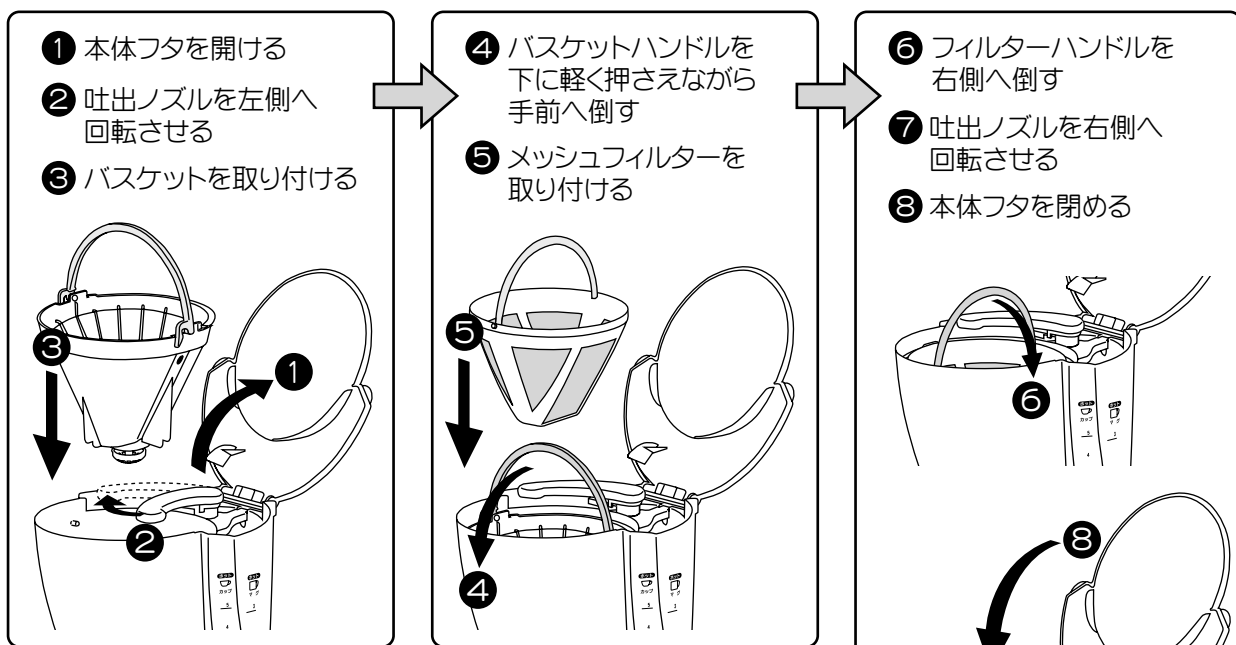
計量スプーン

# 正しい使い方

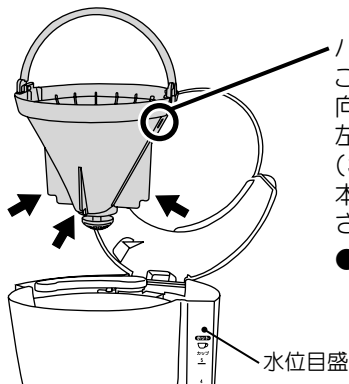
- この製品には保温機能(ドリップ終了後、スイッチボタンを「切」にしないと、本体保温板の下にあるヒーターが入切をくり返す。)がありますが、保温時間は30分以内にしてください。コーヒーの風味を失います。また、故障の原因となることがあります。
- コーヒーを作ること以外には使用しないでください。牛乳・酒・コーヒー・湯など、水以外のものを水タンクに入れると故障の原因となります。
- 初めてご使用になるときや長期間使用しなかったときは、容器やバスケットなどを洗い、水だけで1~2回ドリップしてください。
- 使い始めは、プラスチックやゴムの臭いがすることがありますが、しだいに臭いは少なくなります。

## バスケットとメッシュフィルターの取り付け方

**!** ステンレス容器の取り付けは、必ず下の手順が終わった後に行ってください。バスケットが本体に正しく取り付けられず、故障ややけど・けがの恐れがあります。

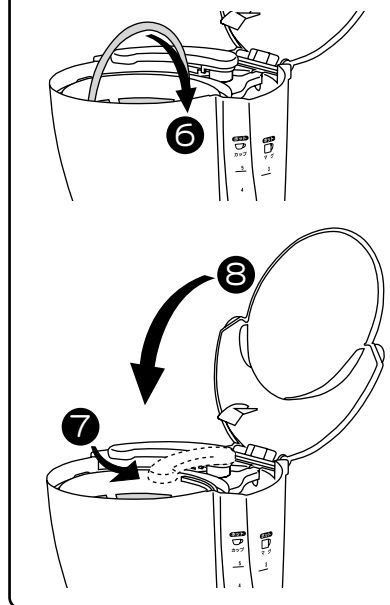


**!** バスケットには方向があります。ご注意ください。



バスケットの1ヶ所に穴があります。この穴を本体の水位目盛のある方へ向けてください。左図のように、3ヶ所の板状の突起(3つの矢印)が見えている状態で、本体にバスケットを取り付けてください。

- 前後逆向きに取り付けた場合、故障ややけど・けがの恐れがあります。



※取り外す場合は逆の手順で行ってください。

# ドリップのしかた

## 1. コーヒー粉を入れる

- ①本体フタを開ける。
  - ②本体にバスケットとメッシュフィルターを取り付ける。(4ページをご参照ください。)
  - ③コーヒー粉をメッシュフィルターに均一に入れる。(付属の計量スプーンですりきり1杯が約6gです。)
- コーヒー粉は中びき粉をご使用ください。細びき粉を使用しますと、ドリップの際にコーヒー粉がメッシュフィルターの目をとおり、ステンレス容器に入ることがあります。
  - メッシュフィルターを使用した場合、コーヒー粉がステンレス容器に入ることがあります。気になる場合は、メッシュフィルターを取り外し、ペーパーフィルターを使用してください。(ペーパーフィルターは4杯用をご使用ください。)

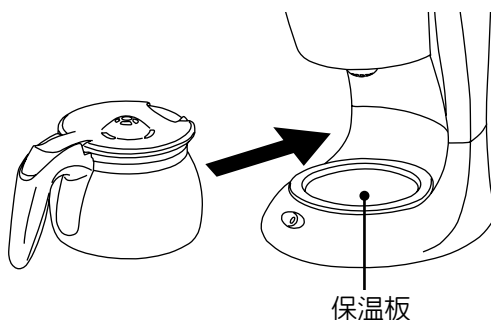
コーヒー粉の目安

| カップ数 | コーヒー粉の量(計量スプーン)     |                   |                           |
|------|---------------------|-------------------|---------------------------|
|      | ホットコーヒー             |                   | アイスコーヒー                   |
|      | ☕ コーヒーカップ<br>約120ml | ☕ マグカップ<br>約180ml | 🍷 <b>アイス</b> グラス<br>約60ml |
| 2カップ | 12g(2杯)             | 18g(3杯)           | —                         |
| 3カップ | 18g(3杯)             | 27g(4.5杯)         | —                         |
| 4カップ | 24g(4杯)             | —                 | 24g(4杯)                   |
| 5カップ | 30g(5杯)             | —                 | 30g(5杯)                   |

## 2. ステンレス容器を保温板の上に取り付ける

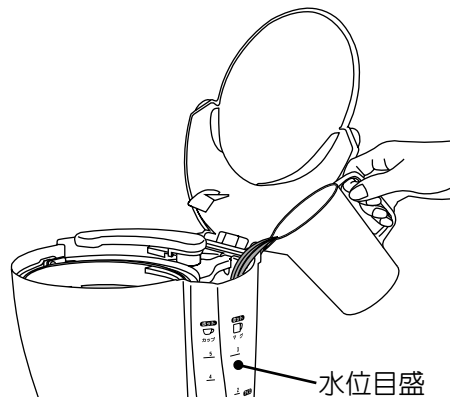
容器フタを閉めてから、ステンレス容器を保温板の上に確実に取り付けてください。

- 容器フタを閉めていないと、コーヒーがバスケットからあふれ出ます。
- ※ドリップ中や保温中は本体の保温板やステンレス容器などの高温部に手を触れないでください。  
やけどやけがの原因となります。
- ※専用のステンレス容器以外は使わないでください。



## 3. 水タンクに水を入れる (必ず、☕の目盛2~5の範囲でご使用ください)

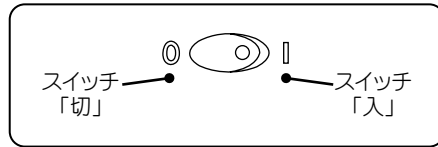
- ①本体フタを開け、必要なカップ数の水を水位目盛に合わせて、こぼれないように水タンクに注ぎます。
  - ②本体フタを閉めます。
- 最大水位目盛(コーヒーカップ目盛☕の5カップ)をこえる水を入れしないでください。ステンレス容器からコーヒーがあふれ出ます。
  - ドリップ中に水を追加しないでください。
  - 水タンクに湯を入れしないでください。正しくドリップできなくなり、水タンクの変形の原因となります。



## 4.電源プラグをコンセントに差し込みスイッチを入れる

①電源プラグをコンセントに差し込みます。

②スイッチボタンを『I』側に押し、通電ランプが点灯し、ドリップを始めます。



③バスケットからコーヒーが落ちてこなくなれば、ドリップ終了です。

●ドリップが終了しても、通電ランプは消えません。

保温状態(本体保温板の下にあるヒーターが自動的に入切をくり返します。)になっています。

この場合も保温時間は30分以内にしてください。コーヒーの風味を失います。また、故障の原因となることがあります。

できあがり時間の目安

| カップ数 | ホットコーヒー             |                   | アイスコーヒー               |
|------|---------------------|-------------------|-----------------------|
|      | ☕ コーヒーカップ<br>約120ml | ☕ マグカップ<br>約180ml | 🍷 アイス<br>グラス<br>約60ml |
| 2カップ | 約3.5分               | 約4.5分             | —                     |
| 3カップ | 約4.5分               | 約6分               | —                     |
| 4カップ | 約6分                 | —                 | 約3.5分                 |
| 5カップ | 約7分                 | —                 | 約4.5分                 |

④使用後は、必ずスイッチボタンを『0』側に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●できあがり時間は、水量・水温・室温・コーヒー粉などで変わります。

●1カップ分の標準できあがり量は、コーヒーカップで約120ml(マグカップで約180ml)です。コーヒー粉の種類・量・粗さにより、できあがり量が変わります。

●ドリップの途中でステンレス容器を取り出さないでください。コーヒーがバスケットからあふれ出ます。

●ぬれた場所や他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しないでください。感電・火災・故障・変色・変形の原因となります。

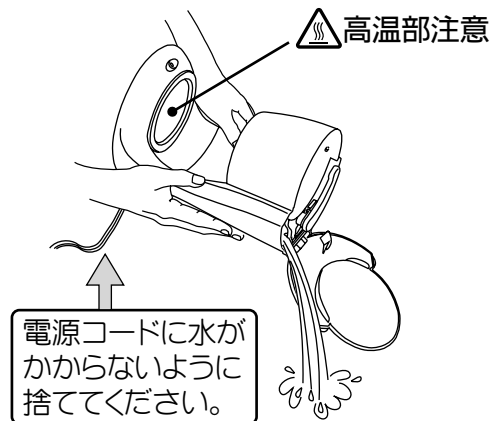
### 途中で使用を中止する時は

①スイッチボタンを『0』側に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

②ドリップが完全に終わってから、ステンレス容器を取り出してください。

③本体を10分以上冷ましてから、バスケットを取り出してください。

④水タンクに残った水は、本体が冷めてから本体をぬらさないよう右図のように捨ててください。



### おいしいコーヒーを飲むために

●少量の時や室温が低い時は、ステンレス容器に熱がとられ、コーヒーの温度が低くなります。ご使用前にステンレス容器とカップに湯を入れて温めておくと、おいしく飲めます。

●コーヒーを長時間ステンレス容器の中に入れておきますと風味を失いますので、できあがったら早め(目安30分以内)にお召し上がりください。

# お手入れ

## お手入れするときは

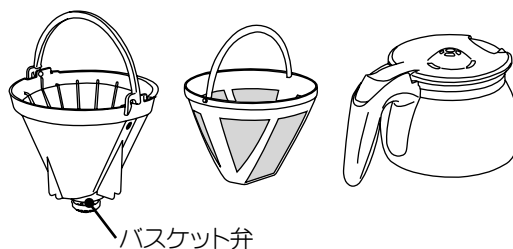
- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、各部が冷めてから早めに行ってください。
- 台所用中性洗剤と柔らかいスポンジ・布などをお使いください。  
シンナー・ベンジン・みがき粉・たわしなどは、表面を傷つけますので使わないでください。
- 熱湯や食器乾燥器・食器洗い乾燥機は使わないでください。(部品の変形や故障の原因となります。)
- 水タンクに水を入れたまま放置しないでください。(故障や変色・においの原因となります。)
- 本体フタを持って運ばないでください。(本体フタが外れ、けがをする恐れがあります。)



## バスケット・メッシュフィルター・ステンレス容器・容器フタ


柔らかいスポンジできれいに洗い、水でよくすすぎます。

- みがき粉・研磨剤入りスポンジ・金属たわしなどは使わないでください。
- バスケット弁は水で流し洗いしてください。強くこすると故障の原因となります。



## お湯の出方が悪くなった時は

水質によっては、本体の水管に湯アカが付着し、湯の出方が悪くなることがあります。次の方法で取り除いてください。

- ①ボールなどの容器に食酢を50ml程と水を500ml程入れ、食酢が水に溶けるまでよくかき混ぜて食酢溶液を作り、水タンクに入れる。
- ②バスケットとステンレス容器を本体に取り付け、電源プラグを電源コンセントに差し込み、ドリップする。  
食酢溶液がコーヒーカップ目盛  の2カップまで減ったときにスイッチを切る。
- ③電源プラグを電源コンセントから抜き、そのまま10分間程冷ましてから、水タンクとステンレス容器の食酢溶液を捨ててすすぎ、水で数回ドリップする。(臭いがとれるまで)



# 保証とアフターサービス

## 保証書

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

## 補修用性能部品の保有期間

- コーヒーマーカーの補修用性能部品は製造打ち切り後5年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- コーヒーマーカーに使用している部品は性能向上のため一部予告なしに変更することがあります。

## 修理を依頼されるときは（持込修理）

下記の『故障かな?と思ったとき』に従って調べていただき、なお異常があるときは、スイッチを切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

### ■保証期間中は

保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。  
なお、修理に際しては、保証書をご提示ください。

### ■保証期間経過後は

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。  
修理すれば使用できる場合はご希望により、有料で修理させていただきます。  
なお、修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。

# 故障かな?と思ったとき

| 症 状                  | 点 検 事 項  |
|----------------------|--|
| 湯が出ない(通電ランプが点灯しない)   | 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。                                    |
| 湯の出方が悪い(時間がかかる)      | 水管に湯アカが付着していることが考えられます。<br>7ページの『お湯の出方が悪くなった時は』の手順でお手入れしてください。 |
| ドリップが終了しても通電ランプが消えない | 故障ではありません、保温状態になっています。<br>(詳しくは、6ページを参照ください。)                  |

### 愛情点検



### 長年ご使用のコーヒーマーカーの点検を！

#### こんな症状はありませんか？

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードを動かすと通電が止まる時がある。
- 本体が異常に熱を保持したり、こげくさい臭いがする。
- その他の異常や故障がある。



#### ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、  
コンセントから電源プラグを抜いて、  
必ずお買い上げの販売店に点検・修理を  
ご相談ください。

# 保証書(持込修理)

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 品名     | コーヒーメーカー          |
| 品番     | CM-05D            |
| お買い上げ日 | 年 月 日             |
| 保証期間   | お買い上げ日より1年間(本体のみ) |
| お客様    | 〒□□□-□□□□<br>ご住所  |
|        | お名前 様             |
|        | TEL ( )           |
| 販売店    | TEL ( )           |

本書は本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。  
左記保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。修理の際は本書をご提示ください。

●所定記載欄が空欄のままですと本書は有効となりませんから、もし未記入の場合は、すぐお買い上げ販売店へお申し出ください。

●本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。

修理メモ

## 株式会社 仲佐

〒574-0043 大阪府大東市灰塚3丁目8-22  
PHONE (072)871-6801(代) FAX (072)873-7673

## 【無料修理規定】

- 取扱説明書、注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、お買い上げ販売店が無料修理いたします。  
尚、お買い上げ販売店または弊社修理部門にご持参(送付)いただく際の諸費用は、お客様にご負担いただきます。
- 保証期間内に故障して修理を受ける場合は、本製品と本書をご提示のうえ、お買い上げ販売店に依頼してください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理依頼ができない場合には、弊社までお問い合わせください。
- 保証期間中でも次の場合には有料修理となります。  
(イ)本書のご提示がない場合。  
(ロ)本書のお買い上げ年月日やお客様名、販売店名欄の記入または押印がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

- (ハ)使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷。
- (ニ)お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
- (ホ)火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
- (ヘ)一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。

- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社までお問い合わせください。